



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信 花便り

17 (2010年6月15日号)

報 告

6/19(土)園芸福祉シンポジウムin福岡 開催
アクロス福岡・円形ホール 13:00～16:40

熟女!? 4人、 ケーブルテレビ出演

6月19日(土)の「園芸福祉シンポジウムin福岡」のPRをしようと熟女!?4人で、ケーブルテレビ「COMチャンネル福岡」に出演しました。「百聞は一見にしかず」と、スタジオにハンキングバスケット、エコ鉢の寄せ植え、コケ玉などを持ち込み収録スタジオを演出しました。カメラマンさんが熟女パワーに圧倒された様子の中、テイク3でやっと収録が完了!あとは放送を待つのみです。この様子は「COMチャンネル福岡11チャンネル」で、6月11日から映画情報番組の後に30秒間流れてます。ぜひ観てください。



ローカル色いっぱいの「園芸福祉シンポジウムin福岡」

NPO法人日本園芸福祉普及協会の総会・シンポジウムは、これまで東京(東京農大)で行われてきましたが、今年度より全国各地で開催されることになりました。さて、記念すべき第1回目の開催地は、福岡が選ばれ「園芸福祉ふくおかネット」が主催することになりました。

博多気質といいたましようか、福岡ののぼせもんともいいたましようか、NPO法人日本園芸福祉普及協会、吉長理事長からの要請を受け、即座に「やらせてください!」と二つ返事で内諾してしまいました。まだ早すぎるのでは「しまった!」と後悔した日も確かにありましたが・・・(笑)。

4月に協会の理事会で福岡開催が決定してからは、会場決定から発表者決定まで、短い期間にしなくてはいけないことが山積み状態。役員会のメンバーたちは、博多山笠んごと走りだしました。いよいよ開催日が迫った今日現在も走っております(笑)。



午前の総会に引き続き、午後がシンポジウムとなっています。

熊本県立八代農業高等学校の地域に開かれた園芸福祉の取り組みを基調講演に九州・沖縄、釜山からの園芸福祉自慢の13人が日ごろの活動を自慢する。発表は5分間、あっという間の短い時間に凝縮された自慢話を聞きもらすことのないようじっくりとお聴きください。皆様のこれからの原動力、そして企画・アイデアなど実践活動にきっと役立つことと思います。全国から参加される仲間とともに、各地域の貴重な活動自慢を共有しながら、さらなる発展へと広がっていくことを願っています。(山崎博子)

いざ! みんなで参加しましょう!

参加申し込みは
園芸福祉ふくおかネット
事務局 090-8626-1586(黒瀬)



事務局からのお知らせ

年会費の納入を受け付けています
平成22年度の年会費(2,000円)の
納入をお忘れではありませんか。
(会費振込先)

口座名 園芸福祉ふくおかネット
郵便振替 01770-7-57288

平成22年度は平成22年4月1日より、
平成23年3月31日までとなります。

「第9回園芸福祉シンポジウムin福岡」
参加のお申し込みをお待ちしています。

ハンキングバスケットの体験講座は、
5名以上のグループまたは団体でお
申し込み下さい。希望日時、参加費
などについては、ご相談させていた
だきます。

担当: 黒瀬 090-8626-1586

アイランドシティー中央公園

「園芸福祉の庭」定例会のお知らせ
毎月最終日曜日に除草や花の定植など庭の
手入れ作業をしています。
次回は6/27(日) 10:00~12:00
皆さんの参加をお待ちしています。

書籍紹介

グリーン・エコライフ 「農」とつながる緑地生活

進士 五十八(著者)

小学館より出版 価格: ¥1,575 (税込)

様々な農とのつきあい方を紹介し、日々の暮らしに土と緑をとり入れた「農のある暮らし」の魅力伝える愛読したい一冊です。

吉田邸

オープンガーデン見学



去る5月21日、福岡県宗像市の吉田邸のオープンガーデンへ行ってきました。朝から五月晴れのお天気に恵まれ、参加者21名と小児2名は、750坪の土地に7年の歳月をかけて造られたというお庭を見て回りました。緩やかな高低の小路には木製チップが敷き詰められ、庭の外装にはハッカの香り



がする「ブルーキャット

ミント」、樹木のグランドカバーには小花がかわいい「プラティア・プルベルラ」などなど、庭づくりのアイデアいっぱいでした。バラやハーブ、ギボウシ、クリスマスローズなど100品種300種類の花が咲く中を散歩しながら、素敵な時空間を楽しませていただきました。四季折々にまた訪れてみたくなるお庭でした。

報 告

北九州高等学園で 園芸福祉の外部講師

福岡県教育委員会により、本年度から実施されることになった特別支援学校の職業教育支援事業に基づき、園芸福祉ふくおかネットに外部講師の依頼がありました。

去る5月31日同会員の外部講師たちは、福岡県立特別支援学校北九州高等学園(所在・福岡県中間市)へ第1回目の授業に出かけました。今回は3年生の生徒13名で「新しい花壇を作る」をテーマに、教員室前の立ち上がり花壇を整理して、植栽の準備をすることにしました。通常のボランティア作業では、咲き終えた花をみんなで取り除き、花壇を整地して「ご苦労様でした」で

おしまいです。今回はこれまでのボランティア作業と同じではありません。私たち外部講師には、生徒たちが、自主的に活動しながら、将来社会生活で責任のある行動が出来るよう導いていくことが期待されています。「みんなできれいな花壇を作りましょう！」は生徒たちが作業をする中で、自立のきっかけを掴めるようにする、というのが福岡県の指導目的のようです。当日の作業時間は3時間、少し余裕があったので、まだ元気だったペチュニアの苗を他の花壇に移植したり、縫製教室前の草取りやカモミールの収穫などをして、この日の予定を終わりました。今後は「みんなで楽しく」と同時に、積極的に人を導くという活動も考えていかねばならないように思います。次回は6月24日(木)花苗の植栽が予定されています。(青崎安孝)

今秋開催! 台北国際花博出展 「エコ・アジア・五感の庭」報告

台北花博の国際エリアゾーン引き渡しまで60日。花博開会カウントダウンまで165日となりました。5月25日から小山(陳)雲珠さん、庭設計監理担当の木村洋子さん、そして角銅久美子は現地スタッフと打ち合わせをするため台北を訪問しました。小山さんは今回で十数回(事前準備を含む)、木村さんは四回目、角銅は三回目の台北です。初日は台湾在住の裏千家の方々とお会いし、庭でのお茶会をお願いし、快く引き受けいただきました。その後、福岡から持参した木村さん制作の庭の模型を見ながら入念な打ち合わせ。やはり模型の効果は抜群で、みなさんに理解していただき、さらに一歩前進したように思います。縁あって出会った新竹県の吉利園芸企業有限公司の李さんは、東京農大出身で、NPO法人「日本園芸福祉普及協会」の前理事長進士五十八氏(前東京農大大学長)の教え子です。今回、花博の総合施工管理を総括していただくことになりました。

中華造林事業協会名誉会長の黄さんには台湾の珍しい樹木を掘り出していただき、施工の日まで大切に管理していただくことになりました。「僕の芝生は台湾一だ!」と、ご自慢の芝生はEM菌と一緒に、提供していただくことになっています。27日、一行は新幹線に乗って、台中の埔里に行きました。台湾には高齢者福祉制度があり、新幹線もバスも65歳以上は半額。外国



人もパスポートを見せれば通用するという、すばらしい制度です。埔里では台光ハーブ園に行き、保水プランターの試作研修をしました。うまくできるかどうか、とても不安でしたが、陳さんをはじめみなさん強心臓で、難なくこなすことができました。この日の夕食は、ハーブ園の黄さんお気に入りの野菜料理店に案内していただきました。保冷のショーケースに並べられた数十種類の山野菜を煮る・炒めるなどさまざまな調理法でいただく台北の食文化にもふれることができました。夕食後に出かけた紙教堂には、日本の神戸大震災の時に建てられた紙使用の仮設建物を埔里が譲り受け、移築保存されており、現地では「新故郷」と名付けられ親しまれています。建物の周囲には明かりが映え、そこには幻想的な空間が広がっていました。

翌日は宜蘭水草場の徐さんとお会いし、ピオトップ制作の依頼と打ち合わせをしました。台湾関係者との交流は「これぞ園芸福祉の極み」で、一致団結・協同で1つの庭を造りあげていく面白さを共感できた今回の台湾訪問でした。(角銅久美子)

あなたも活動紹介をしませんか？

個人やグループで、学校、地域などで行っている園芸活動をお知らせください。メールやお手紙に写真を添えてお送りください。

送り先 / 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25

園芸福祉ふくおかネット事務局 黒瀬恵子宛

[Eメール/engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp](mailto:engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp)

皆様からのお便りをお待ちして
いま～す。



会員紹介

英国王立園芸協会認定
ハンギングバスケットマスター
黒瀬恵子さん
携帯090-8626-1586



ハンギングバスケットは、目の高さで観賞するため、ひとつ飾るだけでもとても華やかな雰囲気をつくってくれます。花壇のない場所、鉢やプランターを置くスペースのない所でも、フェンスや壁面に掛けることで花を楽しむことができます。魅力たっぷりのハンギングバスケットですが、福岡では緑化イベントなどで見かけることはあっても、まだまだ街中で見かけることは少なく、あまり知られていないのが現状です。ハンギングバスケットが普及することで、これまで花が飾れなかった場所やまちづくりに活用されれば、もっと花や緑あふれる心豊かで、おしゃれなまちづくりができるのでは…。「ハンギングバスケットの魅力をひとりでも多くの人に伝えたい」。その夢を実現するため、2008年マスターの資格を取得しました。

先日、あるマンションの住民の方から「マンションで園芸サークルをつくり、花壇のお世話をしているのですが、玄関横のフェンスが殺風景なので、ハンギングバスケットをつくって飾りたい」ということで、講師依頼を受け行って来ました。同じマンションで一緒に活動されているとあって、とても和やかな雰囲気です。ポーチユカ、アメリカンブルー、夏スミレやヘンリーツタなど、これから晩秋まで長く楽しめる素敵なバスケットが出来上がりました。

養生を終え、玄関横のフェンスに飾られ、夏の日差しを浴びながら美しく咲き誇る花たちは、道行く人たちをも楽しませてくれることでしょう。これからも、ハンギングバスケットを通して、花のある、こころ豊かで、おしゃれなまちづくりのお手伝いできればと思っています。

園芸福祉ふくおかネット事務局

- TEL 090 - 8626 - 1586(黒瀬)
- E-mail engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp
- URL www.engeifukusi-fukuoka.net
- 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25
- ネット通信 花便り 編集者 米倉治美・尾島修子